

辰野町議会

ホームページアドレス
http://www.town.tatsuno.nagano.jp/gikai/index.htm

第9号

発行 2003年 5月
長野県上伊那郡辰野町中央
辰野町議会 TEL 0266-41-1111
議長 降旗誉男
広報委員会

議会だより

任期最後の3月定例会終わる 時代の潮流の中で

辰野町議会議長 降旗誉男

私たち、町議会議員
一同は平成十一年四月、
長期的な構造不況の中
で選出戴きました。足
を理由に、平成十七
年三月末を目標に半ば
強制的に市町村合併を
進める中、自分たちの
ふるさとが消えてしま
う、そんな危機感を覚
える時代にもなってい
きました。私たち議
会もこのような時
代の潮流に漂う厳
しさを真剣に認識
し、町民の皆さん
に地域行政への関
心を強くしていた
だくため、議会広
報の発行・ホーム
ページの開設など
の情報公開や議員
定数の削減と効率
的運営に積極的な
取り組みと市町村
合併の調査研究を
進めてまいりました。
しかし行政機能が飛躍
的拡大の中、議会は常
に脇役でしかなく、議
員ひとりひとりの意識
改革が重要な課題とな
ってきています。

四年の任期ご苦労様でした

只今、任期を迎え四
年間を顧みますと、時
あたかも地方
分権一括法が
成立し地方自
治法制定以来
の大改革によ
り、国と地方が
対等な関係に
転換が図られ、
自治体には自
己決定・自己責
任が求められ
ています。ま
た、自治意識や
政策立案の能
力の高揚と、一
方では住民の代表であ
る私ども地方議会の果
たすべき役割の重要性
がこれまで以上に高ま
り議会の活性化と改革
が不可欠となってまい
りました。財政面にお
きましても、自主財源
さらには国は、財源不

的に行財政運営や、広
域的で、高度で柔軟な
住民サービスに対応し
てゆくため「上伊那広
域連合」が発足され、議
会活動も大きな広がり
を持ってきました。

本号の主な内容

● 3月定例会の委員会報告

特集

- 総務文教常任委員会 ----- p. 2
- 社会福祉常任委員会 ----- p. 3
- 経済建設常任委員会 ----- p. 4
- 議会のうごき・編集後記 ----- p. 6

※紙面の都合上「ウォッチ・ザ・議会」は次号へまわしました。

総務文教常任委員会

3月定例会の委員会報告

一般会計予算

歳入全部

歳出の内

議会費、総務費、民生費の内同和对策費、消防費、教育費、公債費、予備費

●有線放送特別会計

●陳情3、4、5

●意見書

●条例改正

・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

・一般職給与の一部を改正する条例他

小野駅前町営住宅建設現場の視察調査



三月五日定例会初日
総務文教常任委員会に
付託された標記の件に
ついて、助役、各担当
課長並びに係長の同席
を求め慎重に審議を行
う。

歳入

従来歳入として計上
されるべき金額が減額
の為、歳出を押さえる
ために通年で約十%の
減額予算となった。

町税は前年比較し四%
の減額を見込む。見込
めるものは確実にまた
適正に見積もられてい
るか慎重に審査を行
う。また、審査の過程
で滞納について厳しく
対処するようにとの意
見が出された。**地方交
付税**は前年に比較して
三億円の減額、**特別交
付税**は前年比同額、分
担金及び負担金は十
八・〇%で、これは普
通建設事業費などの
減。国庫支出金は前年

比二十六・七%の減、こ
れは、西小学校大規模
改造耐震補強工事など
完了によるもの。**県支
出金**は二十一・七%の
増額。これは身体障害
者支援事業地域づくり
総合支援事業、地域づ
くり総合支援事業及び
長野県議会議員の選挙
委託金など。**繰入金**は、
前年比二十四・一%の
減で、主なものは一般
財源充当のために財政
調整基金から三億七千
二百万円、減債基金か
ら七千万円、小中学校
のパソコン整備とごみ
処理有料化対応に一千
九百五十五万円を取り
崩し計上。**町債**につい
ては六億一千六百四十
万円、前年比二十二・七
%減。臨時財政対策債
五億四千五百万円をは
じめ減税補填債、中山
間地域総合整備事業
債、スクールバス整備
事業債などを計上。

歳出

総務費は前年比較
〇・九%増。**消防費**
前年比八・二%の減。主
なものは常備消防費、
非常備消防費、消防施
設費。**教育費** 前年比
十九・五%の減。**公債
費** 前年比九・一%減。
予備費 三千万円計上

辰野町有線放送 特別会計予算

予算総額七千八百四
十四万二千円、施設の
維持管理充実、テレビ
事業では行政チャンネ
ルとしてますます充実
した放送内容の提供に
努力するよう希望。

陳情

陳情三号 米国のイラ
ク攻撃に反対し平和解
決を求める意見書の採
択を求める陳情

陳情四号 平和の意見
書の日本政府への提
出を求める陳情

陳情五号 イラクの攻

撃反対国連の枠組みで
平和的解決を求める意
見書の採択を求める陳
情 以上陳情三件につ
いて意見書を提出する
ことと決す。

意見書

日本国は憲法の理念
に基づき国際社会と協
調しイラクに対し査察
への協力と武装解除を
求めるとともに米国
に対しては武力によら
ない対話と協調による
解決を求めるよう強く
要請します。以上採択
として意見書を提出す
る事に可決。

条例改正

議案二十九号 辰野町
特別職の職員で非常勤
のものの報酬及び費用
弁償に関する条例の一
部を改正する条例 消
防関係を除く各委員会
の報酬を二%削減、

社会福祉常任委員会

3月定例会の委員会報告

- 一般会計予算
民生費（同和对策費を除く）、衛生費（水道費を除く）
- 特別会計予算
国民健康保険特別会計、第一診療所特別会計、川島老人保健医療特別会計、町立辰野総合病院事業会計、介護老人保健施設特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計
- 条例関係
小野介護予防センターの設置及び管理に関する条例の制定他
- 陳情2
- 意見書

南箕輪資源ゴミ中間処理施設の見学

普及した福祉タクシー・バス助成事業が大幅カット。早急な見直しを強く求めます。

老人福祉費は、二・九億円減。在介支援センター事業委託に小野の新施設も加わる。

児童福祉費五・五億円。**保育所運営費**は、千四百五十九万円減。延長保育へ希望者が増加、小野保育園の延長保育が新たに始まる。

衛生費は、六千三百万

一般会計予算

民生費は、総額十四・七億で六・四％の増。身体障害者等支援費事業の新設が比重を占め、措置から選択へ障害者福祉の事業編成が大きく変わる。新規は知的障害者施設入所事業、地域福祉計画策定など。ぬくもりの里維持管理に、二千万円程かかり、委託先との費用の按分を是正する事が必要。

特別会計予算

辰野町国民健康保険特別会計
総額は、十五・五億円で前年比一・二％の増。歳出の老人保険拠出金は該当年齢の変更により一億一千四百七十五万円の大減額。

第一診療所特別会計
予算総額で一千三百三十五万円、週三日間診察と往診。診療収入が千二百三十三万円。

川島診療所特別会計
町内医師により火

木の午後診察、診療収入八百四十九万見込。両診療所とも将来について関係者のコンセンサス形成が必要。

辰野町老人保健医療特別会計
総額十九億八千七百四十五万円。歳入は昨年の定率制への制度改正により二・一％の減。歳出は、国保三千百二十七人、社保九百七十八人の医療給付費が主で二・三％の減。

十・六億円。歳入は、施設介護サービスなど二・三億円。歳出は職員二十三人の人員費、清掃委託料など一・五億円。公債費は元利で三千九百二十六万円予定。

介護保険特別会計
歳入総額は、十億余万円。在宅福祉から施設福祉にシフト。給付の増と待機者が常態化。在宅ケアへの取組みが今後重要。

社会福祉常任委員会に付託されました、十五年度特別会計等予算八議案は原案どおり可決するに決しました。費用の削減を図り財政の健全化を図るもので採択。

条例関係

辰野町小野介護予防センターの設置及び管理に関する条例の制定
管理運営は町、使用

経済建設常任委員会

3月定例会の委員会報告

- 一般会計予算
衛生費の内水道費、農林水産業費、商工費、土木費
- 特別会計予算
上水道事業会計、簡易水道特別会計、小野簡易水道特別会計
公共下水道特別会計、特定環境保全公共下水道特別会計、
農業集落排水処理施設特別会計
- 条例関係
辰野町ホタル保護条例
- 請願6号
- 意見書

天竜川羽場淵「農業用水下井取り入れ口」視察調査

当委員会に付託されました、平成十五年度一般会計及び一企業会計と五特別会計の予算について、委員会審査において論議された事を中心に報告します。

農林水産業費

◆農業委員の定数削減と女性委員登用に向けて条例の見直しに上程、十六年三月に実施される農業委員会改選時での施行を目指しています。

◆厳しい財政運営を強いられ、普通建設関連ばかりか福祉関連にあつても、各種補助金の減額や事業の大幅な見直しながなされている現在、食の健康拠点施設「かやぶきの館」への繰り出し金だけが特別に許されるはずがありません。

◆一般会計への財政負担軽減のために、また

限られた予算を有効利用するために、今後、経営の健全化が図られなければ、民間委託、業務縮小、事業の全面廃止をも視野に入れた、抜本的な改革をすべき時期にきています。

パークホテルも含めた、町開発公社業務委託全般の経営健全化を強く要望します。

◆現在の農業が抱えている高齢化・後継者不足・遊休荒廃地拡大等々の問題は、年々深刻化してきています。

◆農業の衰退は地域の活力を奪い、ひいてはコミュニティの崩壊を招きます。

◆農業者と地域住民が交流施設を核に地域の活性化を図る「おもしろ未来塾」、高齢者の潜在能力発揮を促す「いきいき北大出農業」等は、予算規模は小さいものの、その効果は大きいと期待します。

商工費

◆不況対策及び商業振興対策事業である「おたのしみ券発行事業」削減の提案がなされたので、特に慎重審査しました。

◆前回の実施報告書によると、参加店募集は新聞広告により行い、九十七店が自主参加しました。参加は強制的なものではなく、また参加条件も商工会加入店等の制限はありません。あくまでも任意参加であり、自店に販売促進の効果無し、と判断すれば参加しない自由は保障されています。

◆参加店負担金百三十五万円、町負担金四百八十八万円、合計五百五十三万円に対して、売上総額は九千五百七十七万円でした。

◆また、抽選回数は約二万一千四百回、抽選

者数は約二千百人でした。

◆おたのしみ券発行が地元商店の売上増進に貢献しているのか、消費者に喜ばれているのか、税金を投入する価値があるのか、詳細に検証しなければならぬことは当然です。

◆当委員会としては、おたのしみ券が不況対策及び商業振興に一定の効果を上げていると認め、予算削減に当たらないとの結論に達しました。

◆さらに実施期間、抽選内容等を見直し、改善強化を図ることを要望します。

土木費

◆昨年四月の地震防災対策強化地域指定に伴い、新規に「すまいのとうかい耐震診断」が実施されます。

◆これは、昭和五十三年五月三十一日以前に

総務文教常任委員会

二ページからの続き

議案三十号 辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例

例 町長百分の七、助役百分の五、収入役百分の四・五、教育長百分の四とするもので採択。

議案三十一号 辰野町工事分担金条例の一部を改正する条例

町単事業の地元負担金を増額するものであり慎重結果可決。

審査の結果可決。

議案三十二号 辰野町使用料条例の一部を改正する条例

誦公園の入園料を一人三百円とするもので、町内各戸には二枚の入園券を配布するもので、小野しだれ栗公園マレットゴルフ道具一式の貸し出しを三百円から二百円に値下げして利用の促進を図るものです。以上議案四件について慎重に審査の結果可決。

(社会福祉常任委員会
三ページからの続き)

料(部屋)無料。小野在宅介護支援センター運営事業を社協に委託。デイサービス等の事業も行う。地域との連携作りが課題。条例制定は可。

辰野町地域福祉活動推進センターの設置及び管理に関する条例の制定

辰野町福祉年金条例の一部を改正する条例
主な改正点は対象を老人に限定。障害者等

は支援費事業へ統合。年金額はそれぞれ減額ないし縮小。職員の賃金カットも求められる状況から、条例改正を可とした。本当に困る住民への福祉施策の充実を望む。

辰野町難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例

同条例で認定する患者に月額三千五百円を千円引下げたもの。難病患者の皆さんは、長期間の治療と生活の困難を強いられ大変であるが、前者同様条例改正を可と致した。

辰野町介護保険条例の一部を改正する条例

二期目への保険料見直しで一号被保険者(六十五歳以上)の保険料増額による改正。基準額となる第三段階の保険料二万七千四百八十円を約二十・五%上げ三万三千二百円を新基準額とする。利用

が普及して収支の均衡が必要。負担の水準は上伊那の中期にあり条例改正を可と致した。

以上五つの条例改正議案を慎重に審査した結果、委員から次のような意見が出された。

町内の、福祉関係の施設がこの数年で相当数建設された。それらの管理体制、需用費等

(経済建設常任委員会
四ページからの続き)

従来木造工法によって建設された建物を対象に、一軒二万円の予算で、希望者に耐震診断を実施し、十五年度は八十戸を、十八年度までに三百八十戸を見込んでいます。

上下水道関連費

◆中央水源油混入事故以来、限界に近い状態で給水しています。

◆天竜川六百ト放流に
対応するための引き堤
工事に関連して、新規

の分担・地域の均衡な
どは今後に残されてい
る課題である。

陳情「誰もが安心して
よい医療を受けられる
ための陳情書。」
上伊那医師会等医療関
係三団体による陳情。
は、妥当と判断し、委
員全員一致採択と致し
意見書を提案、可決。

に城前橋架け替えのた
めの設計委託料が計上
されました。平成十九
年の完工予定です。
なお、現状規模分は
河川管理者の国が全額
負担しますが、歩道拡
張分は道路管理者の町
負担になります。

たら、辰野町の三分の一が再び混乱の極みに陥ることは必至です。
また、水需要の最盛期で渇水期の今年の夏には二千トの水不足が予測されます。
そこで、危機回避のために、
第一に、町民に現在の危機的状況を周知徹底すること
第二に、町民にあらゆる節水の方法を知らしめて協力を仰ぐこと
第三に、安全な水源確保の方策を早期に決定し、工事に入ること
第四に、財源確保のために、現在の水道料金体系の見直し検討に入る
第五に、官民一体となつて、この危機を開くために「水危機回避プロジェクト」を早急に編成すること
以上のこと強く要望します。

議会のつぎ

7日	市町村合併任意協議会設立準備会	6日	6市町村合併任意協議会	3日	農政審議会・農業振興地域促進協議会
10日	議会全員協議会	7日	下水道建設委員会	4日	地籍調査推進委員会会議
13日	辰野消防署・消防団・赤十字奉仕団出初式	6日	小野特環公共下水道運営協議会	6日	6市町村任意合併協議会一般質問通告締め切り
14日	総務文教委員会と校長会・PTAとの懇談会	10日	ほたる童謡公園建設委員会	10日	議会一般質問
15日	議会広報委員会	10日	ほたる童謡公園建設委員会	11日	議会一般質問
21日	議会全員協議会(油混入事故の件)	14日	湖北行政事務組合	12日	議会常任委員会
22日	水道中央水源油混入事故対策の説明会	17日	保育所運営委員会	13日	現場視察
31日	市町村合併任意協議会	17日	辰野町森林委員会	14日	辰野町防災会議
22日	市町村合併任意協議会	17日	議会運営委員会	17日	両小野国保病院組合議会
30日	南信ハルグループの事業計画の説明会	18日	平成15年第二回辰野町議会臨時会	18日	辰野町土地開発公社理事會
二月		19日	全員協議会	20日	小野介護予防センター竣工式
3日	上伊那広域連合議会2月定例会	20日	水道運営審議会	20日	6市町村合併任意協議会
4日	上伊那広域連合議会2月定例会	20日	小野簡易水道運営審議会	24日	地域福祉活動推進センター竣工式
		21日	6市町村合併任意協議会	25日	町民会館運営協議会
		21日	ほたる童謡公園入園料に関する懇談会	25日	伊那消防組合議会
		27日	議会運営委員会	26日	伊北環境行政組合議会
		28日	美術館協議会	27日	図書館協議会
		28日	観光開発審議会	28日	消防委員会
			福寿苑運営委員会		両小野小・中学校組合議会

編集後記

本誌創刊号で降旗議長は、「議会は、住民と行政とを結び、その活動を通じて住民の政治参加を実現する役割を果たすため、情報公開による開かれた透明性のある議会を築き、住民と議会の相互信頼を深め、ひいては議会の存在意義を高めるためにも、議会自らが積極的に情報発信すべく・・・」と「議会だより」発行の意義・目的を述べています。

本号が発行される5月の頭には、新しい議員が選ばれ、新しい構成による議会が始まっていることでしょうか。新たな事務負担とならないよう、原稿の執筆、ワープロ入力、レイアウト等、印刷を除いて全ての作業を議員自らが行う「議会だより」づくりが始まりました。

そんな本誌も、本号